

伴侶

義足よ つれづれの孤独の伴侶とも私に力を借せよかし

人生ひとのよの片影 そを安らかに歩むより 私に想望おもふ事もなし

いまこそ疵も癒ゆたれば お前に学び 歩きたい

向ひの病室 あちらの花芥 いかのほり 風の泳ぐ芝平ら

(昭和十二年「山桜」六月号)